

中小企業景況調査報告書

平成27年度第1・四半期（4～6月）

浅野公園



一宮市観光協会提供

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所。

- V. 調査対象企業 次の表のとおり
の業種

(1) 景況調査対象事業所(100)の内訳

業 種	事業所数
建 設 業	7
製 造 業	62
(繊維製造業)	(49)
(その他製造業)	(13)
卸 売 業	12
小 売 業	10
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所(49)の内訳

業 種	事業所数
撚 糸 業	6
織物製造業	23
染色整理加工業	8
縫製加工業	3
そ の 他	9
合 計	49

- VI. 分 析 方 法
1. D I (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. D I 分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

- VII. 分 析 項 目
1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前 期 比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

1位3ポイント
2位2ポイント
3位1ポイント

今 期 の 概 況

景況は着実に回復している

1. 前年同期比 DI 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべての DI 値で、前期実績を上回り、プラスに転じている。

来期は、すべての DI 値で、今期実績を下回る見通し。

昨年 4 月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減があったことに留意が必要である。

指標別の状況

- 業況 DI 値は、前期実績▲27.0 から 7.0 (34.0 ポイント増) となり、来期は 1.0 (6.0 ポイント減) となる見通し。
- 売上 DI 値は、前期実績▲28.0 から 9.0 (37.0 ポイント増) となり、来期は▲2.0 (11.0 ポイント減) となる見通し。
- 採算 DI 値は、前期実績▲30.0 から 2.0 (32.0 ポイント増) となり、来期は▲2.0 (4.0 ポイント減) となる見通し。
- 資金繰り DI 値は、前期実績▲19.0 から 1.0 (20.0 ポイント増) となり、来期は▲4.0 (5.0 ポイント減) となる見通し。
- 従業員 DI 値は、前期実績▲6.0 から 0.0 (6.0 ポイント増) となり、来期は▲4.0 (4.0 ポイント減) となる見通し。

繊維製造業の状況

- 今期(表 2、5 参照)は、従業員 DI 値で、前期実績横ばい、業況、売上、採算、資金繰り DI 値で、前期実績を上回った。
- 来期は、従業員 DI 値で、前期実績横ばい、業況、売上、採算、資金繰り DI 値で、今期実績を下回る見通し。

2. 前期比 DI 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべての DI 値で、前期実績を上回り、プラスに転じている。

指標別の状況

- 業況 DI 値は、前期実績▲28.0 から 5.0 (33.0 ポイント増) となった。
- 売上 DI 値は、前期実績▲31.0 から 19.0 (50.0 ポイント増) となった。
- 資金繰り DI 値は、前期実績▲15.0 から 5.0 (20.0 ポイント増) となった。

繊維製造業の状況

- 今期(表 9、10 参照)は、業況、売上、資金繰りすべての DI 値で、前期実績を上回った。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(26 件、18 事業所)に比べ件数、事業所とも増加している。

- ① 今期の実績(表 4、6 参照)は 27 件(19 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』8 件、『車両・運搬具』7 件、『OA 機器』6 件となっている。
- ② 来期の計画(表 4、6 参照)は 35 件(23 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』13 件、『工場建物』8 件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』、『原材料価格等の上昇』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（製 造 業〈織物〉）

冬物の婦人コートにおいて、ダウンからウールへの回帰傾向がみられ、その動きは紳士服にも出てきている。

B 社（製 造 業〈織物〉）

商品企画に力を入れており、国内よりも海外販売に重点を置いている。海外からのオーダーは、アメリカ、ヨーロッパが中心である。6月末にイタリアの展示会に出展予定である。設備投資については、分散した倉庫を集約化するため、駐車場内に新倉庫建設し、在庫一括管理する予定である。

C 社（製 造 業〈織物〉）

原材料価格が高値推移するなど業界環境は厳しいものの、今期は、海外生産の国内回帰がみられたため増収増益決算となった。来期も増収を確保できる見通し。設備投資については、主力製品である軽量化素材の受注が好調なため、設備増強する予定である。

D 社（製 造 業〈染色〉）

同業他社の廃業が続く中、なんとか維持しているが、業界、当社ともに厳しい状況が続いている。海外生産の国内回帰がみられるものの、需要拡大している実感はない。

E 社（製 造 業〈繊維その他〉）

業況は比較的安定している。原料・染料の仕入単価が上昇しているが、上昇分については、仕入先の見直し、製造経費の引き下げ等企業努力により吸収するようにしている。売上については、30歳代の女性をターゲットに、需要拡大を図っていきたい。設備投資については、本社の近くに商品ショールーム、会議室、社員用食堂の建物を建築中で、7月完成を目指す。

F 社（製 造 業〈食料品製造〉）

前年同期に比べ受注数量が増加したため増収となった。原料である小麦粉は輸入しており、円安の影響で価格が高騰している。しかし、原料価格の上昇分を卸価格への転嫁は難しい状況である。

G 社（製 造 業〈食料品製造〉）

アベノミクス以降の急激な円安の為、原料を輸入する当社としては、大変厳しい業況にある。同時に消費税増税後の消費低迷と製品単価上昇難も加わり、今後の業績回復の目途が立てにくい時代にある。

H 社（小売業）

ファストファッション衣料に押され、アパレルブランド服の消費低迷により、売上減少が続いている。来期も厳しいと予測している。

I 社（サービス業）

繁忙期である年度末が過ぎて第1四半期は仕事が少ない。6～7月から受注が多くなると予測しているが、慢性的な人手不足に悩まされており、対応に苦慮している。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比 ～

	H26. 4～6月	H26. 7～9月	H26. 10～12月	H27. 1～3月	今 期 H27. 4～6月	来期の見通し H27. 7～9月
業 況	▲15. 0	▲18. 0	▲25. 0	▲27. 0	7. 0	1. 0
売 上	0. 0	0. 0	▲12. 0	▲28. 0	9. 0	▲ 2. 0
採 算	▲25. 0	▲17. 0	▲30. 0	▲30. 0	2. 0	▲ 2. 0
資金繰り	▲12. 0	▲12. 0	▲14. 0	▲19. 0	1. 0	▲ 4. 0
従 業 員	▲ 1. 0	1. 0	▲ 6. 0	▲ 6. 0	0. 0	▲ 4. 0

景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比 ～

	H26. 4～6月	H26. 7～9月	H26. 10～12月	H27. 1～3月	今 期 H27. 4～6月	来期の見通し H27. 7～9月
業 況	▲ 8. 2	▲16. 3	▲22. 4	▲20. 4	20. 4	8. 2
売 上	14. 3	8. 2	▲ 8. 2	▲18. 4	28. 6	4. 1
採 算	▲18. 4	▲18. 4	▲30. 6	▲24. 5	14. 3	8. 2
資金繰り	▲ 8. 2	14. 3	▲16. 3	▲14. 3	0. 0	▲ 4. 1
従 業 員	▲ 4. 1	▲ 4. 1	▲ 4. 1	▲ 6. 1	▲ 6. 1	▲ 6. 1

業 種 別 集 計 表 (全業種100事業所) ～ 前 年 同 期 比 ～

表 3

	事業所数	7	62	12	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0 (1)	19 (12)	1 (2)	1 (1)	4 (2)	25 (18)	7.0 (1.0)
	不変	7 (5)	34 (39)	7 (8)	5 (7)	4 (6)	57 (65)	
	悪化	0 (1)	9 (11)	4 (2)	4 (2)	1 (1)	18 (17)	
売上	増加	1 (0)	24 (15)	3 (2)	3 (2)	7 (4)	38 (23)	9.0 (▲2.0)
	不変	2 (6)	25 (31)	4 (7)	1 (5)	1 (3)	33 (52)	
	減少	4 (1)	13 (16)	5 (3)	6 (3)	1 (2)	29 (25)	
採算	好転	1 (1)	17 (13)	0 (1)	1 (1)	4 (1)	23 (17)	2.0 (▲2.0)
	不変	6 (5)	32 (36)	10 (10)	4 (6)	4 (7)	56 (64)	
	悪化	0 (1)	13 (13)	2 (1)	5 (3)	1 (1)	21 (19)	
資金繰り	好転	0 (0)	5 (4)	1 (1)	0 (0)	4 (2)	10 (7)	1.0 (▲4.0)
	不変	7 (7)	52 (50)	9 (11)	8 (8)	5 (6)	81 (82)	
	悪化	0 (0)	5 (8)	2 (0)	2 (2)	0 (1)	9 (11)	
従業員	増加	3 (1)	6 (5)	3 (1)	1 (1)	5 (2)	18 (10)	0.0 (▲4.0)
	不変	3 (6)	42 (47)	7 (9)	9 (9)	3 (5)	64 (76)	
	減少	1 (0)	14 (10)	2 (2)	0 (0)	1 (2)	18 (14)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今 期	実施した ※1	19	来 期	計画している ※2	23
	(事業所数)	実施していない	81	(事業所数)	計画していない	77

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土地	1 件	3 件	5. 付帯施設	1 件	1 件
2. 工場建物	3 件	8 件	6. O A 機器	6 件	2 件
3. 生産設備	8 件	13 件	7. 福利厚生施設	1 件	2 件
4. 車両・運搬具	7 件	3 件	8. その他	0 件	3 件
複数回答可			合 計	27 件	35 件

業 種 別 集 計 表 (繊維製造業49事業所)

～ 前 年 同 期 比 ～

表 5

	事業所数	6	23	8	3	9	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	3 (1)	7 (5)	4 (3)	1 (1)	2 (2)	17 (12)	20.4
	不 変	3 (5)	11 (13)	3 (3)	2 (2)	6 (6)	25 (29)	
	悪 化	0 (0)	5 (5)	1 (2)	0 (0)	1 (1)	7 (8)	(8.2)
売 上	増 加	4 (2)	11 (7)	4 (4)	1 (0)	2 (1)	22 (14)	28.6
	不 変	2 (3)	7 (9)	3 (2)	2 (3)	5 (6)	19 (23)	
	減 少	0 (1)	5 (7)	1 (2)	0 (0)	2 (2)	8 (12)	(4.1)
採 算	好 転	3 (3)	5 (5)	4 (3)	1 (0)	2 (2)	15 (13)	14.3
	不 変	3 (3)	13 (12)	2 (3)	2 (3)	6 (6)	26 (27)	
	悪 化	0 (0)	5 (6)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	8 (9)	(8.2)
資 金 繰 り	好 転	1 (0)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	4 (3)	0.0
	不 変	5 (6)	20 (19)	5 (5)	3 (3)	8 (8)	41 (41)	
	悪 化	0 (0)	2 (3)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	4 (5)	(▲4.1)
従 業 員	増 加	2 (1)	2 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	5 (3)	▲ 6.1
	不 変	4 (5)	17 (19)	7 (7)	2 (3)	6 (6)	36 (40)	
	減 少	0 (0)	4 (2)	1 (1)	0 (0)	3 (3)	8 (6)	(▲6.1)

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6

設 備 投 資	今 期	実施した ※1	10	来 期	計画している ※2	12
	(事業所数)	実施していない	39	(事業所数)	計画していない	37

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土 地	1 件	0 件	5. 付 帯 施 設	0 件	1 件
2. 工 場 建 物	1 件	2 件	6. O A 機 器	3 件	1 件
3. 生 産 設 備	6 件	9 件	7. 福 利 厚 生 施 設	0 件	2 件
4. 車 両 ・ 運 搬 具	3 件	0 件	8. そ の 他	0 件	1 件
複数回答可			合 計	14 件	16 件

景 況 の 推 移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前 期 比 ～

	H26.4～6月	H26.7～9月	H26.10～12月	H27.1～3月	今 期 H27.4～6月
業 況	▲ 4.0	▲ 7.0	▲ 18.0	▲ 28.0	5.0
売 上	▲ 3.0	▲ 5.0	▲ 16.0	▲ 31.0	19.0
資金繰り	▲ 7.0	▲ 13.0	▲ 15.0	▲ 15.0	5.0

業 種 別 集 計 表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前 期 比 ～

	事業所数	7	62	12	10	9	100	D I
		建 設 業	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービ業	合 計	
業 況	好 転	0	14	1	0	4	19	5.0
	不 変	6	41	9	6	5	67	
	悪 化	1	7	2	4	0	14	
売 上	増 加	3	27	3	2	6	41	19.0
	不 変	1	24	6	4	2	37	
	減 少	3	11	3	4	1	22	
資 金 繰 り	好 転	2	6	1	0	2	11	5.0
	不 変	5	52	11	8	7	83	
	悪 化	0	4	0	2	0	6	

景 況 の 推 移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前 期 比 ～

	H26. 4～6月	H26. 7～9月	H26. 10～12月	H27. 1～3月	今 期 H27.4～6月
業 況	12. 2	▲10. 2	▲28. 6	▲26. 5	12. 2
売 上	16. 3	▲ 2. 0	▲28. 6	▲30. 6	30. 6
資金繰り	▲ 2. 0	▲12. 2	▲18. 4	▲ 8. 2	2. 0

業 種 別 集 計 表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前 期 比 ～

	事業所数	6	23	8	3	9	49	D I
		撚糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	そ の 他	合 計	
業 況	好 転	4	4	3	0	2	13	12.2
	不 変	2	13	5	3	6	29	
	悪 化	0	6	0	0	1	7	
売 上	増 加	5	13	4	0	2	24	30.6
	不 変	1	5	4	2	4	16	
	減 少	0	5	0	1	3	9	
資 金 繰 り	好 転	1	2	2	0	0	5	2.0
	不 変	5	18	6	3	8	40	
	悪 化	0	3	0	0	1	4	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建 設 業	○請負単価の低下・ 上昇難 ○官公需要の停滞 ○民間需要の停滞	○従業員の確保難	○取引条件の悪化 ○下請業者の確保難
繊維製造業	○原材料価格の上昇	○需要の停滞	○製品(加工)単価の 低下・上昇難
製 造 業 (繊維製造業は除く)	○製品(加工)単価の 低下・上昇難	○原材料価格の上昇	○需要の停滞
卸 売 業	○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○販売単価の低下 ・上昇難
小 売 業	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化 ○需要の停滞	○購買力の他地域 への流出	○販売単価の低下 ・上昇難
サービス業	○従業員の確保難	○利用ニーズの変化 への対応	○材料等仕入単価 の上昇

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	9
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	4
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	2
官公需要の停滞	9
民間需要の停滞	9
その他	0
合 計	36

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	4
新規参入業者の増加	1
製品ニーズの変化への対応	27
生産設備の不足・老朽化	25
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	62
原材料の不足	5
人件費の増加	16
原材料費・人件費以外の経費の増加	12
製品(加工)単価の低下・上昇難	31
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	3
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	19
熟練技術者の確保難	23
需要の停滞	42
その他 (良い物の見る目がない(安物文化))	2
合 計	272

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

『直面している経営上の問題点』の集計表

製 造 業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	8
生産設備の不足・老朽化	7
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	11
原材料の不足	2
人件費の増加	6
原材料費・人件費以外の経費の増加	2
製品(加工)単価の低下・上昇難	14
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	4
熟練技術者の確保難	6
需要の停滞	9
その他 (円安による原料高、技術の継承)	2
合 計	71

卸 売 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	6
メーカーの進出による競争の激化	1
小売業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	1
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0
商品在庫の過剰	2
人件費の増加	1
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	11
仕入単価の上昇	15
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	3
需要の停滞	18
その他	0
合 計	59

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

『直面している経営上の問題点』の集計表

小 売 業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	10
同業者の進出	0
購買力の他地域への流出	9
消費者ニーズの変化への対応	2
店舗の狭隘・老朽化	2
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	5
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	1
需要の停滞	10
その他	0
合 計	45

サ ー ビ ス 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	2
利用者ニーズの変化への対応	8
店舗施設の狭隘・老朽化	5
人件費の増加	4
人件費以外の経費の増加	3
利用料金の低下・上昇難	2
材料等仕入単価の上昇	6
金利負担の増加	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	12
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	4
その他 (コンプラ)	1
合 計	54

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

図 1

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

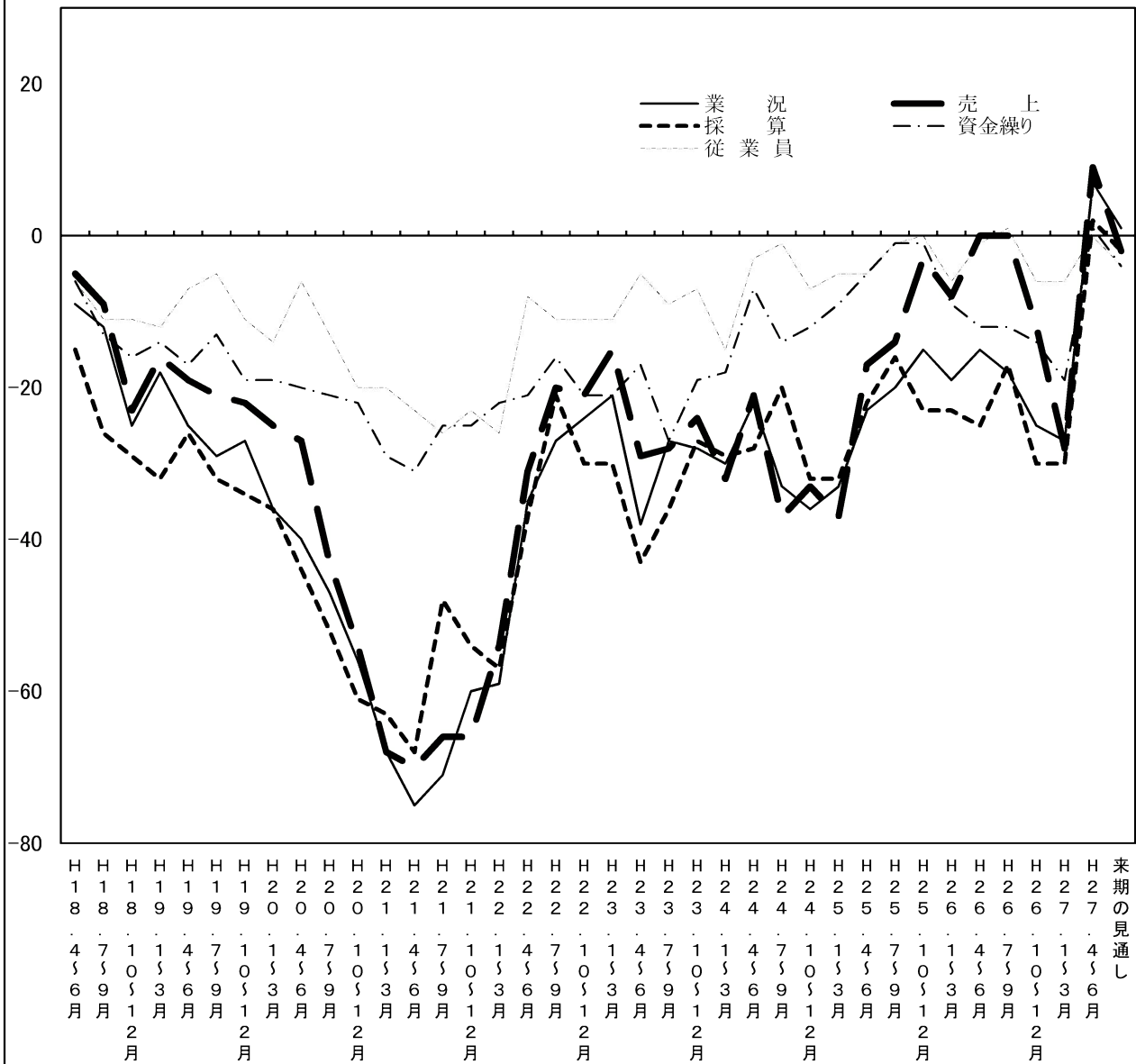


図 2

業 況 DI ー前年同期比ー

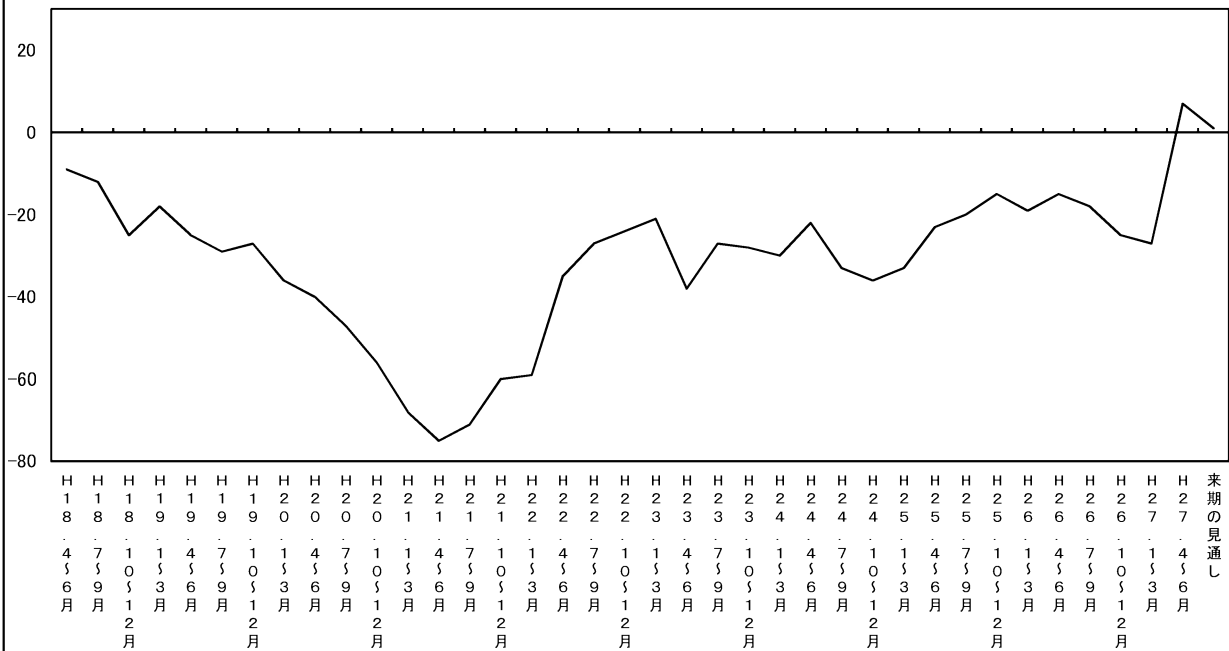
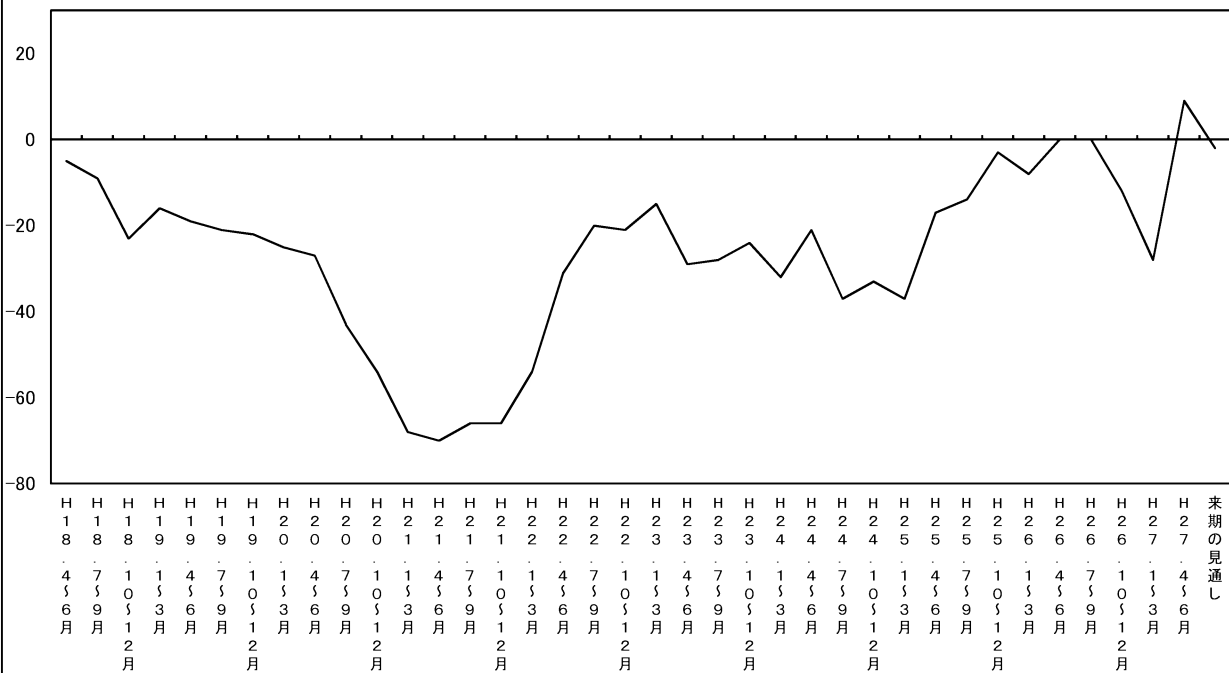
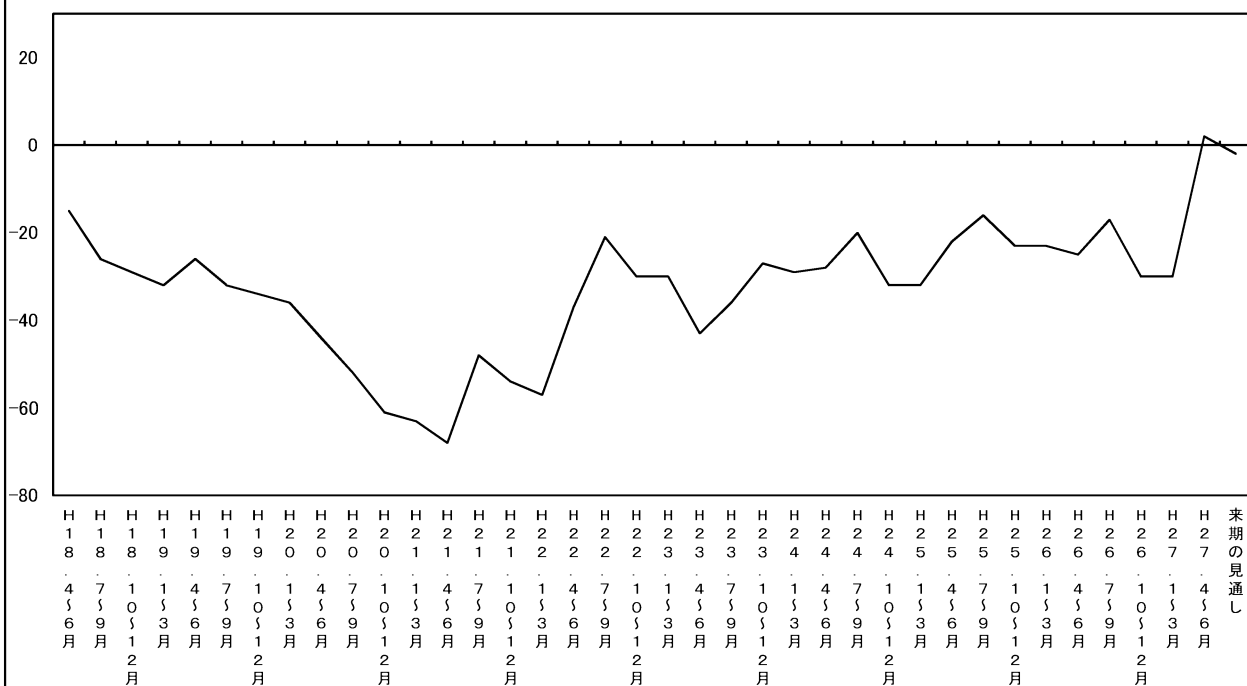


図 3

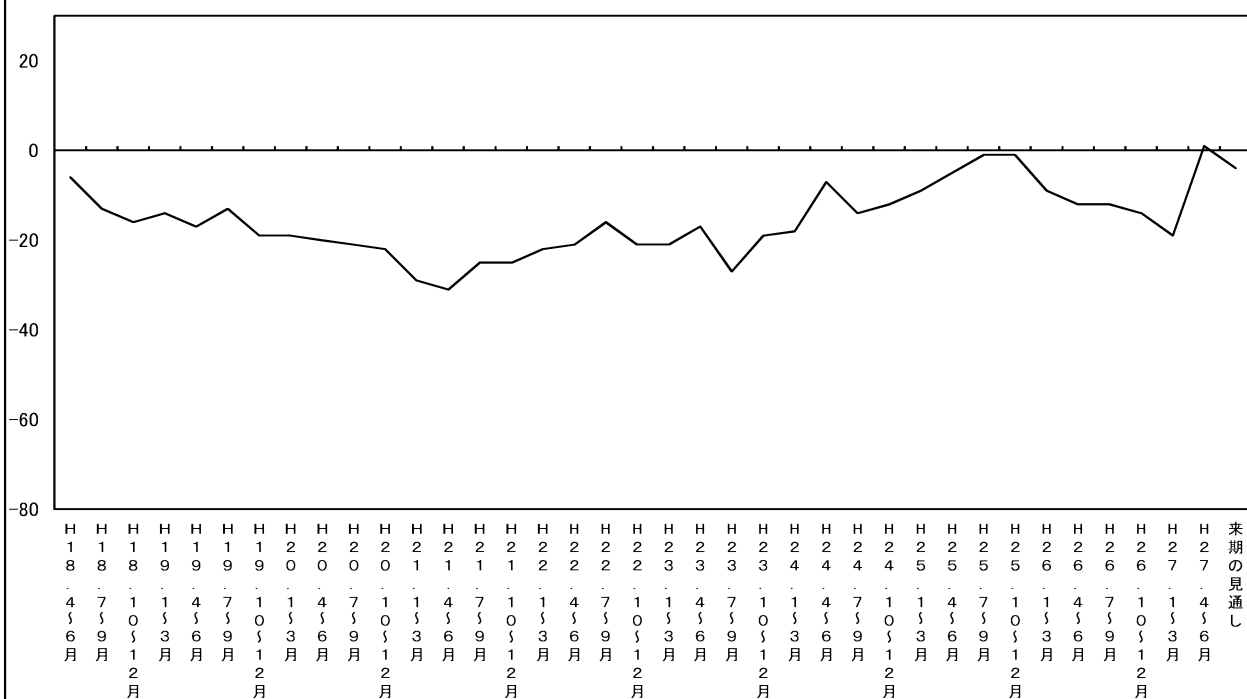
売 上 DI ー前年同期比ー



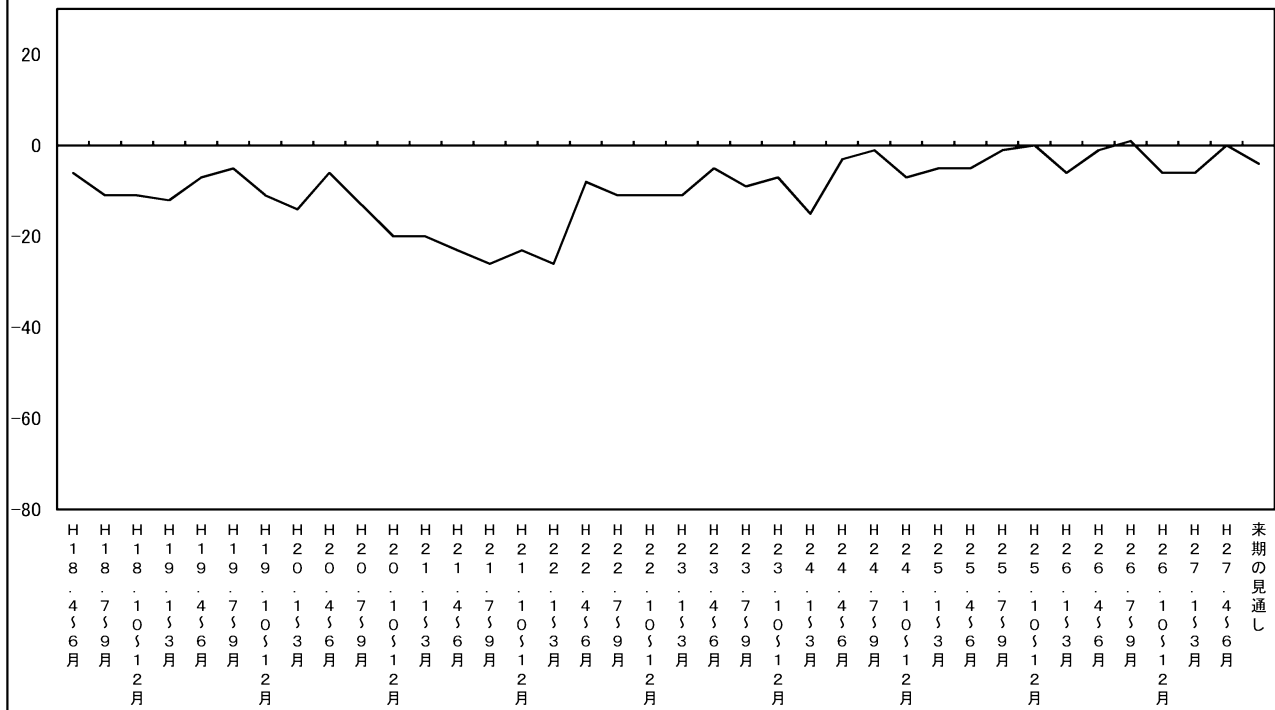
採 算 DI ー前年同期比ー



資金繰り DI ー前年同期比ー



従業員 DI ー前年同期比ー





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目2番1号 (〒491-8686)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp